

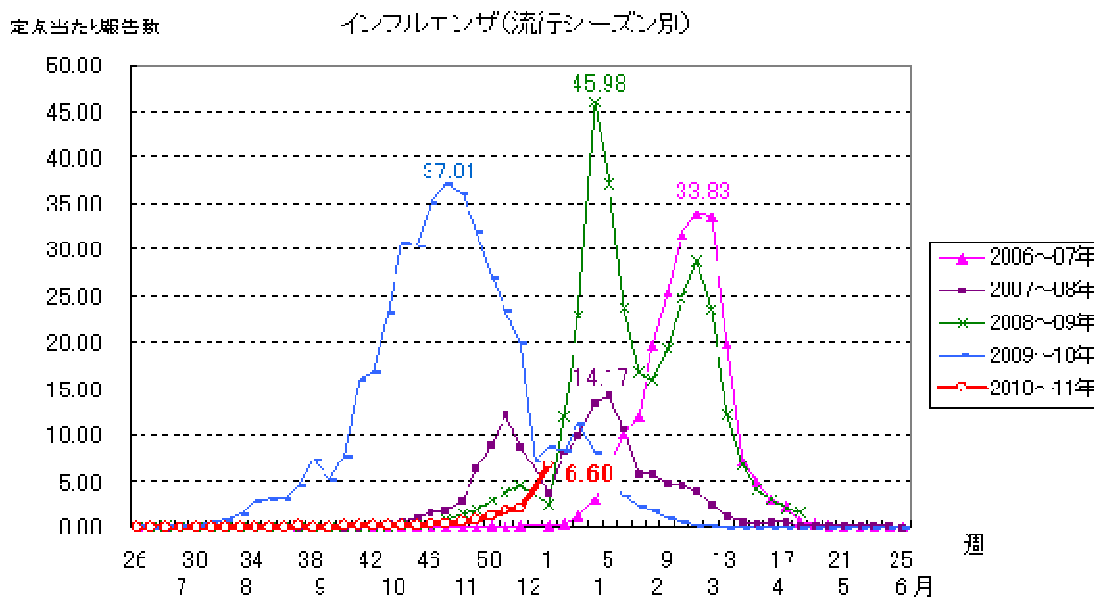
2010-2011 シーズン 千葉大学インフルエンザ情報 第3報 (2011/1/17)

インフルエンザが流行しています。

感染症予防の原則は、手洗い・うがいの励行、咳エチケットの遵守です。

国立感染症研究所感染症情報センターによると、インフルエンザの定点当たり報告数は2010年第42週以降増加が続いており、2011年第1週の報告数は5.06（患者報告数24,841人）と前週の報告数（2.30）よりも大きく増加しました。直近5週間のインフルエンザウイルス検出報告件数は、AH1pdm（H1N12009 パンデミック2009型）が最多であり、次いでA香港型、B型と報告されています。

千葉県のインフルエンザ定点当たり報告数も6.60と全国的な状況とほぼ同一で、注意報が発令されている保健所もあります（千葉県感染症情報センター）。皆様には、手洗い・うがい・咳エチケットの励行に努めてください。



<千葉県感染症情報センターHPより抜粋>

千葉大学の学生・職員が、

A型インフルエンザ又はインフルエンザの疑いと診断された場合には、

総合安全衛生管理機構 043-290-2214（ナース室）もしくは

043-290-2219（機構事務室）

info-hsc@office.chiba-u.jp

へご連絡ください。

インフルエンザの予防接種については最寄りの医療機関へお問い合わせください。